

議事要旨(1) 金融商品専門委員会における検討状況について① (公正価値測定)

冒頭、加藤副委員長（専門委員長）から、公正価値測定及びその開示に関するプロジェクトの状況について説明がなされ、丸岡専門研究員より公開草案に対するコメントの概要、これに対する対応方針案、及び今後のスケジュールについて説明がなされた。

説明の後、委員からの主な発言及び事務局からの説明は以下のようなものであった。

- ある委員から、基準の適用時期について懸念を示すコメントが複数寄せられていることから、今後の審議の中で慎重に検討すべきとの発言があった。
- 複数の委員から、コメントのうち、事務局案の中で今後の検討で取り上げないとしている項目についても、今後の審議の中で柔軟に対応する余地を残すべきとの発言があった。
- オブザーバーから、寄せられたコメントを踏まえてガイダンスや説明の追加を検討する項目が多いが、その部分について、IFRS と異なる取扱いとなる可能性があるのかとの質問があった。この点について、事務局から、現行の実務指針等で運用されているガイダンスは残す方向を考えているが、追加する場合も、可能な限り IFRS と取扱いが異ならないように慎重に検討をしていきたいとの回答がなされた。

以 上